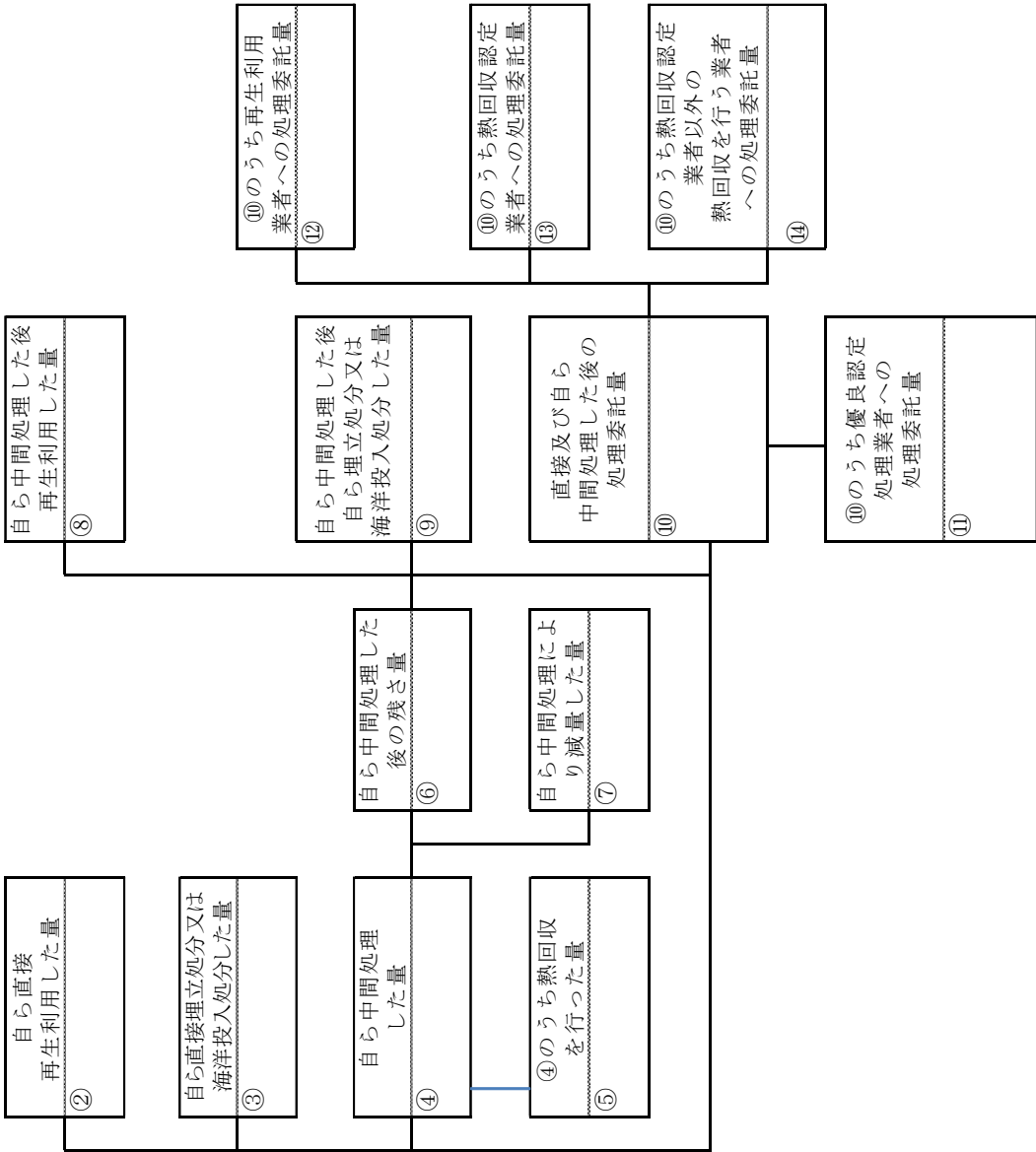
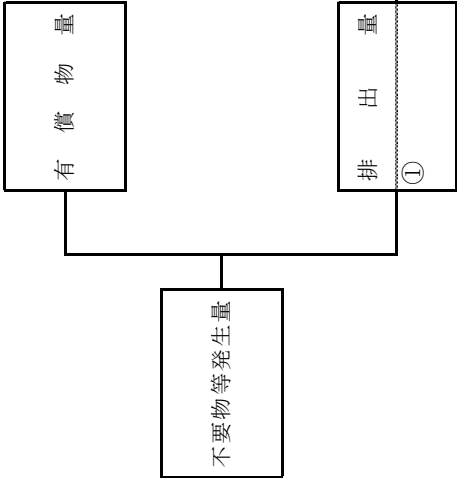


様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年5月28日			
鳥取県知事 様			
提出者			
住 所 鳥取県東伯郡琴浦町赤碕817-7			
氏 名 株式会社 高 野 組			
代表取締役 高 力 久 美			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0858-55-0921			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社 高 野 組		
事業場の所在地	鳥取県東伯郡琴浦町赤碕817-7		
事業の種類	総合工事業 (0911)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値※R5年度に定めた目標値(様式2号の八)を記載			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1900 t	全処理委託量	1900 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1705 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：)



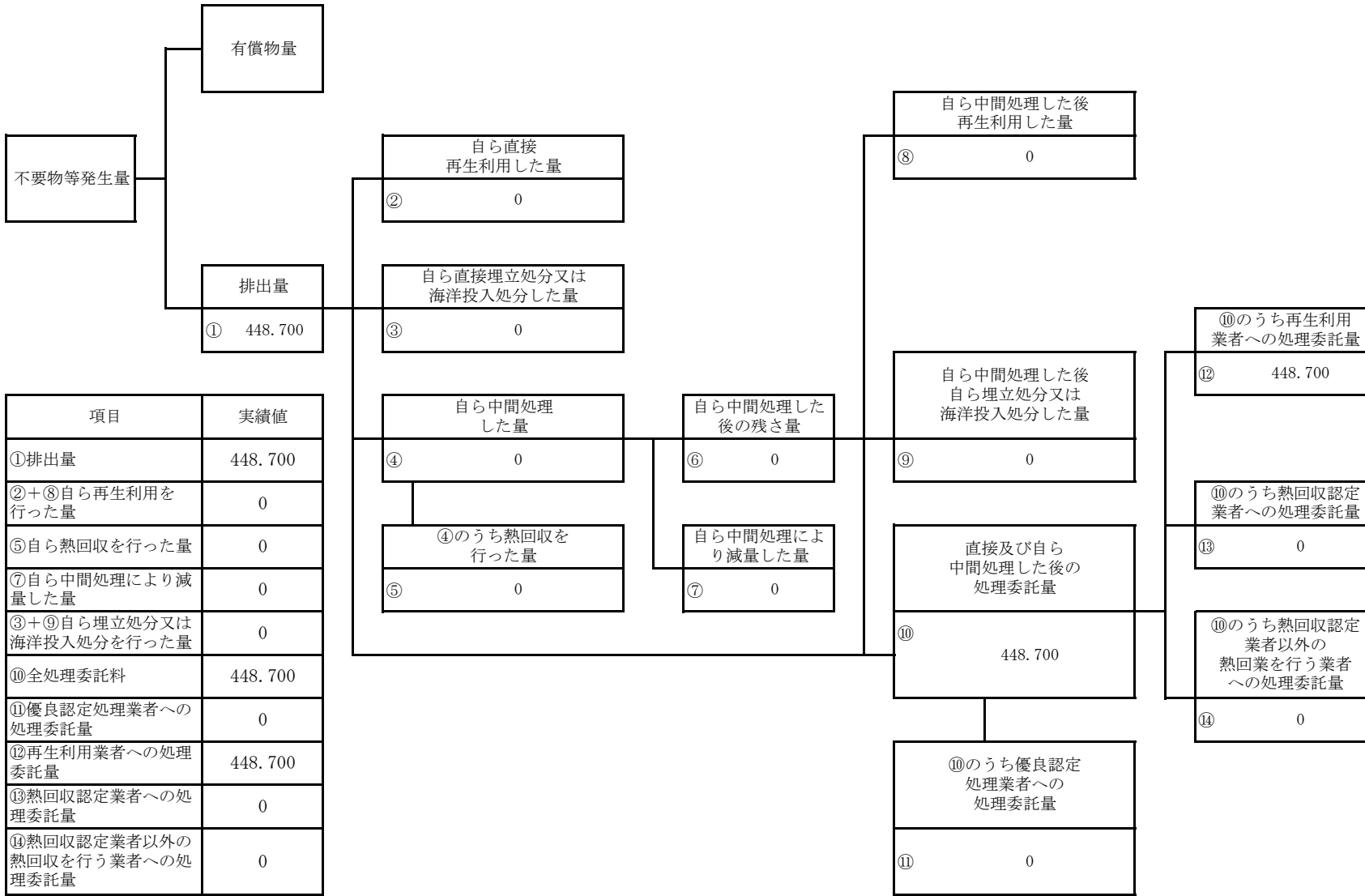
項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンクリート殻)



資料提供(国庫)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：アスファルト殻)

有償物量

不要物等発生量

排出量
① 1353.080

排出量
① 1353.080

自ら直接 再生利用した量	
②	0

自ら直接 再生利用した量	
②	0

自ら直接 再生利用した量	
②	0

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	
③	0

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	
③	0

自ら中間処理 した量	
④	0

自ら中間処理 した量	
④	0

	④のうち熱回収を行った量
⑤	0

	④のうち熱回収を行った量
⑤	0

自ら中間処理した 後の残さ量	
⑥	0

自ら中間処理した 後の残さ量	
⑥	0

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	
⑧	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	
⑧	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	
⑧	0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	1353.080

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	1353.080

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	1353.080

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回業を行う業者
への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回業を行う業者
への処理委託量

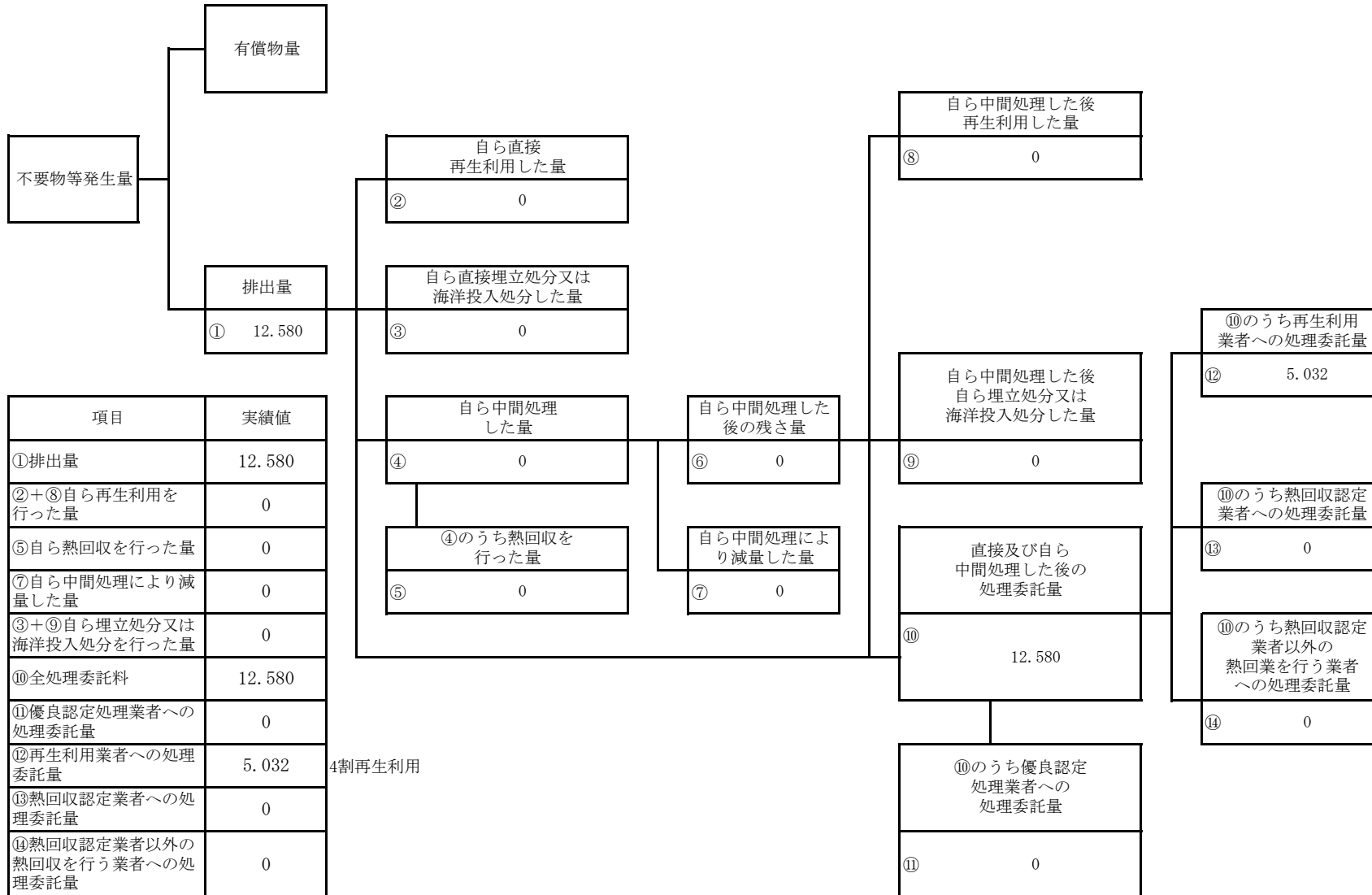
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回業を行う業者
への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1353.080
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託料	1353.080
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1353.080
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

計画の実施状況

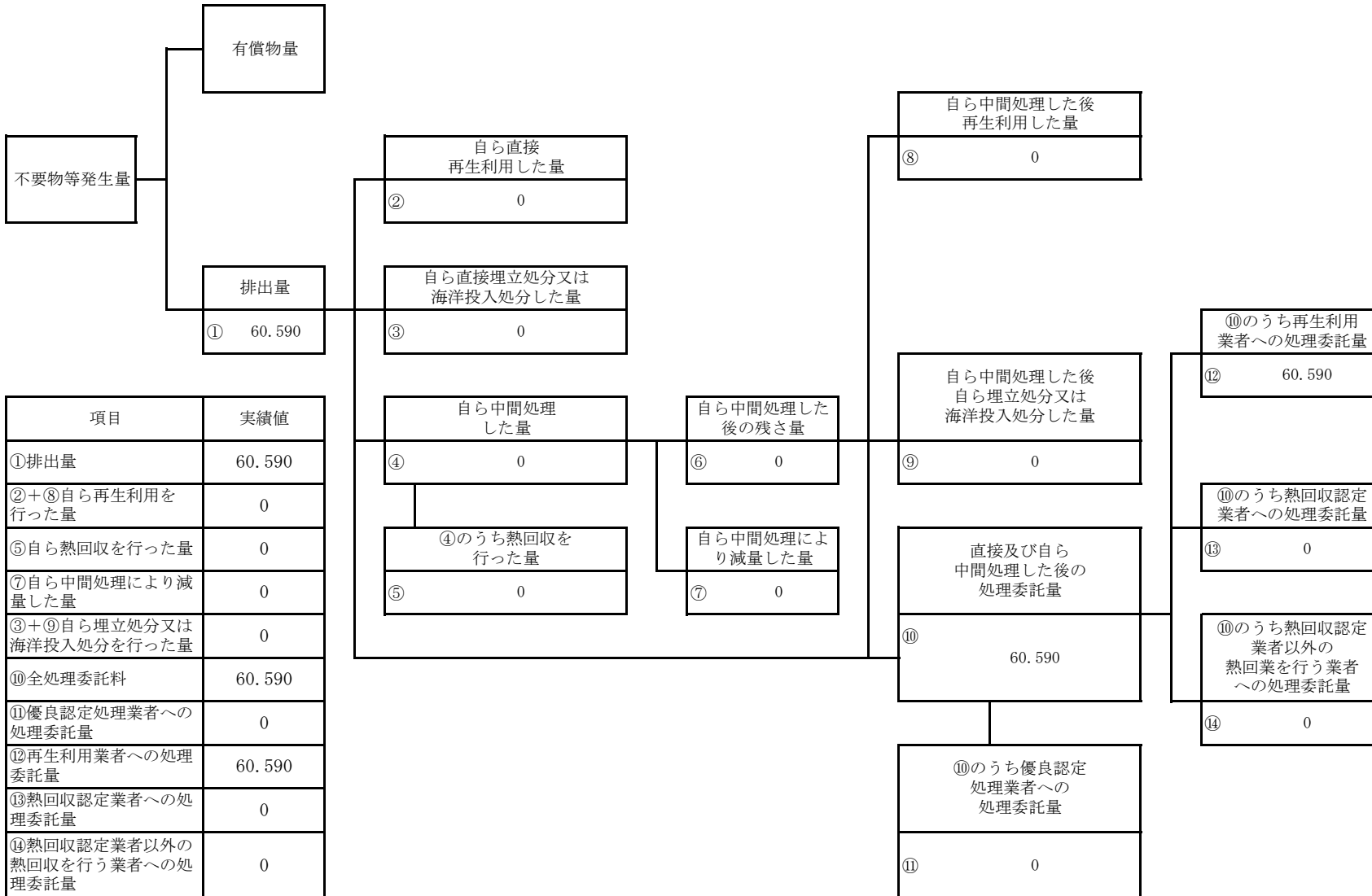
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



算出値(単位)

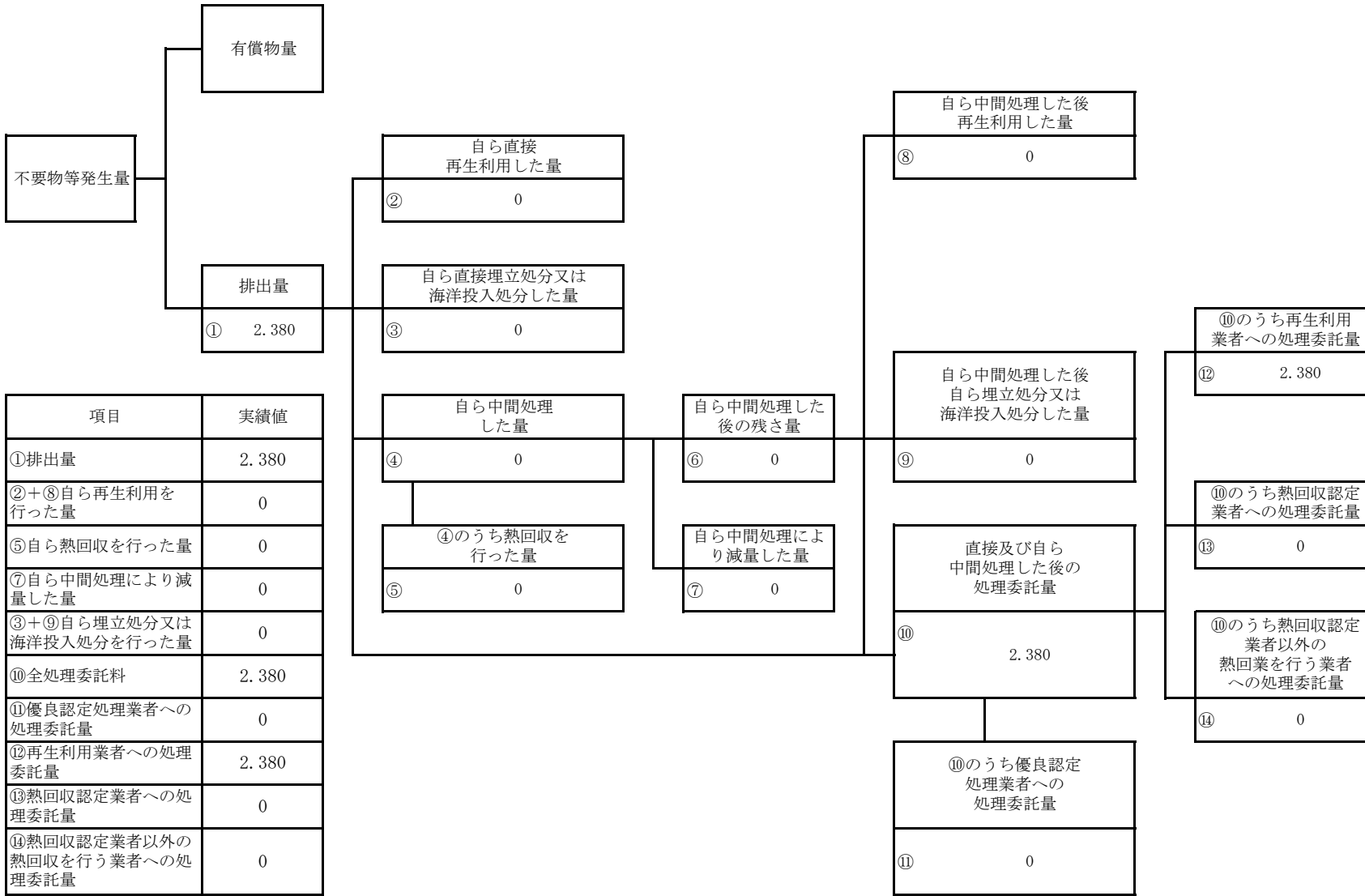
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



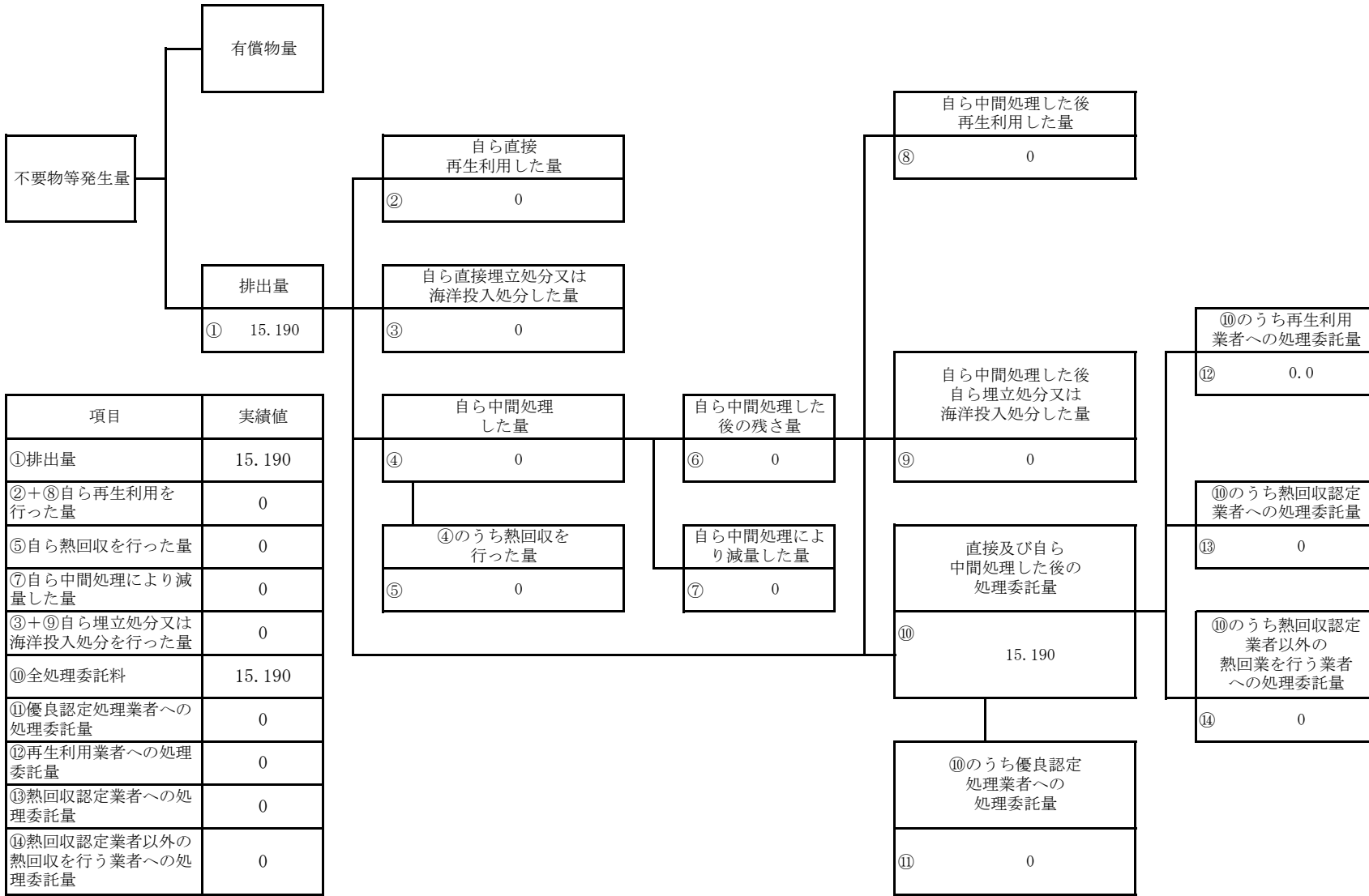
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



計画の実施状況

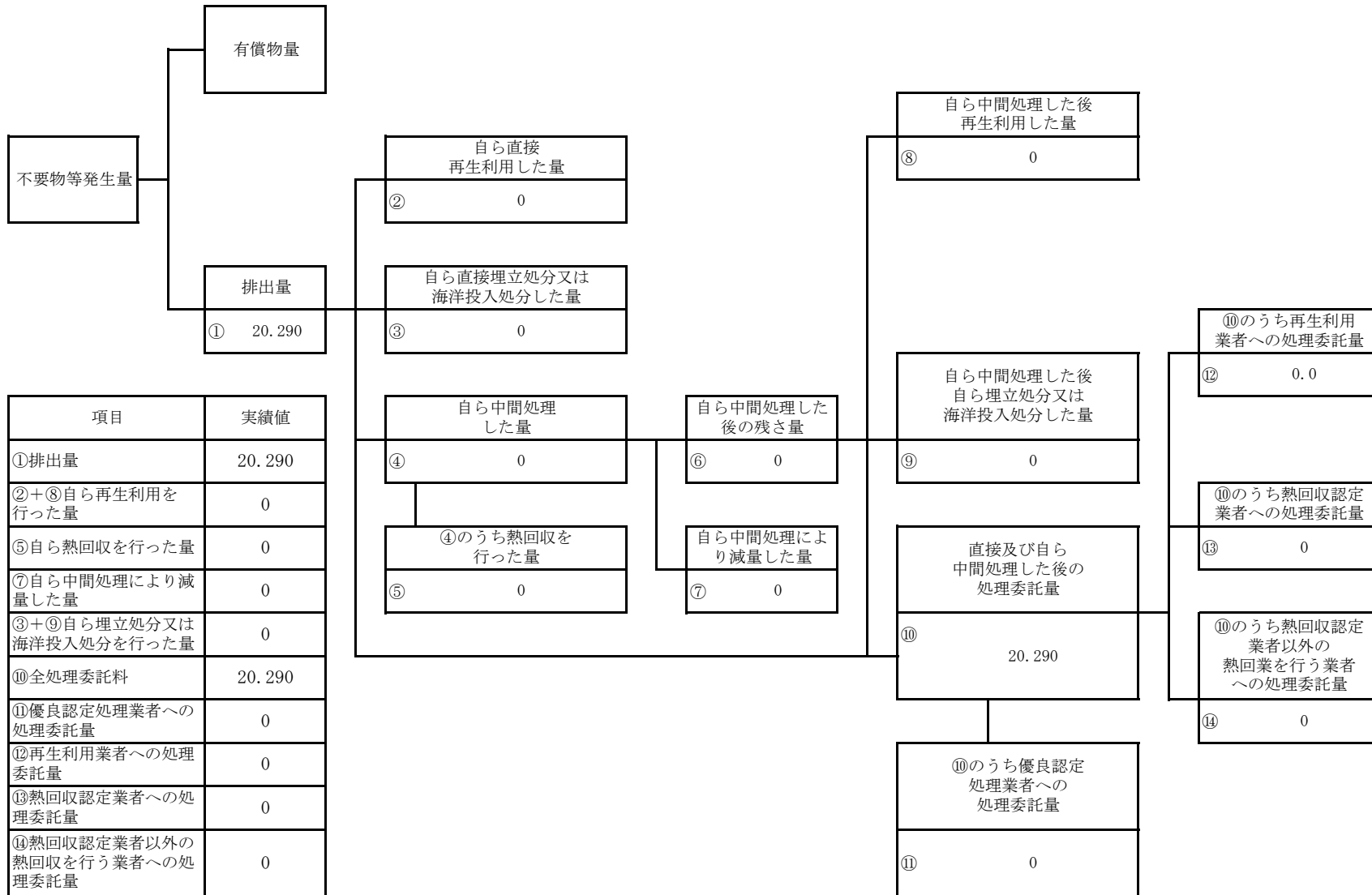
(産業廃棄物の種類：ガラス・陶器くず)



資料提供(国庫)

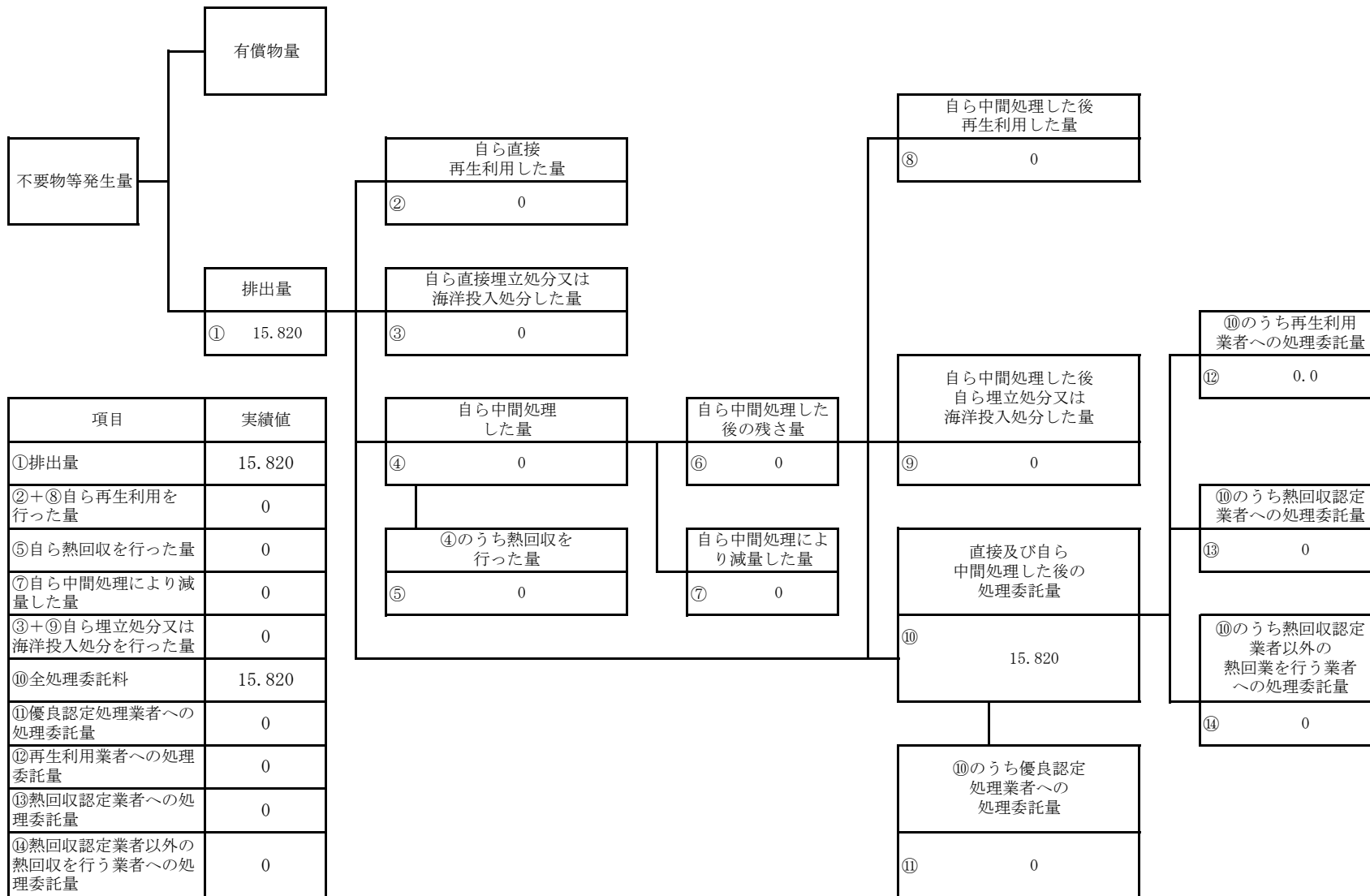
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：石膏ボード)



資料提供(国庫)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：管理型混合物)

(木くず・金属くず・紙くず等が付着し、安定型で処理できないもの)

算出値(単位)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0.000

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収を
行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 0.000

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0.0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

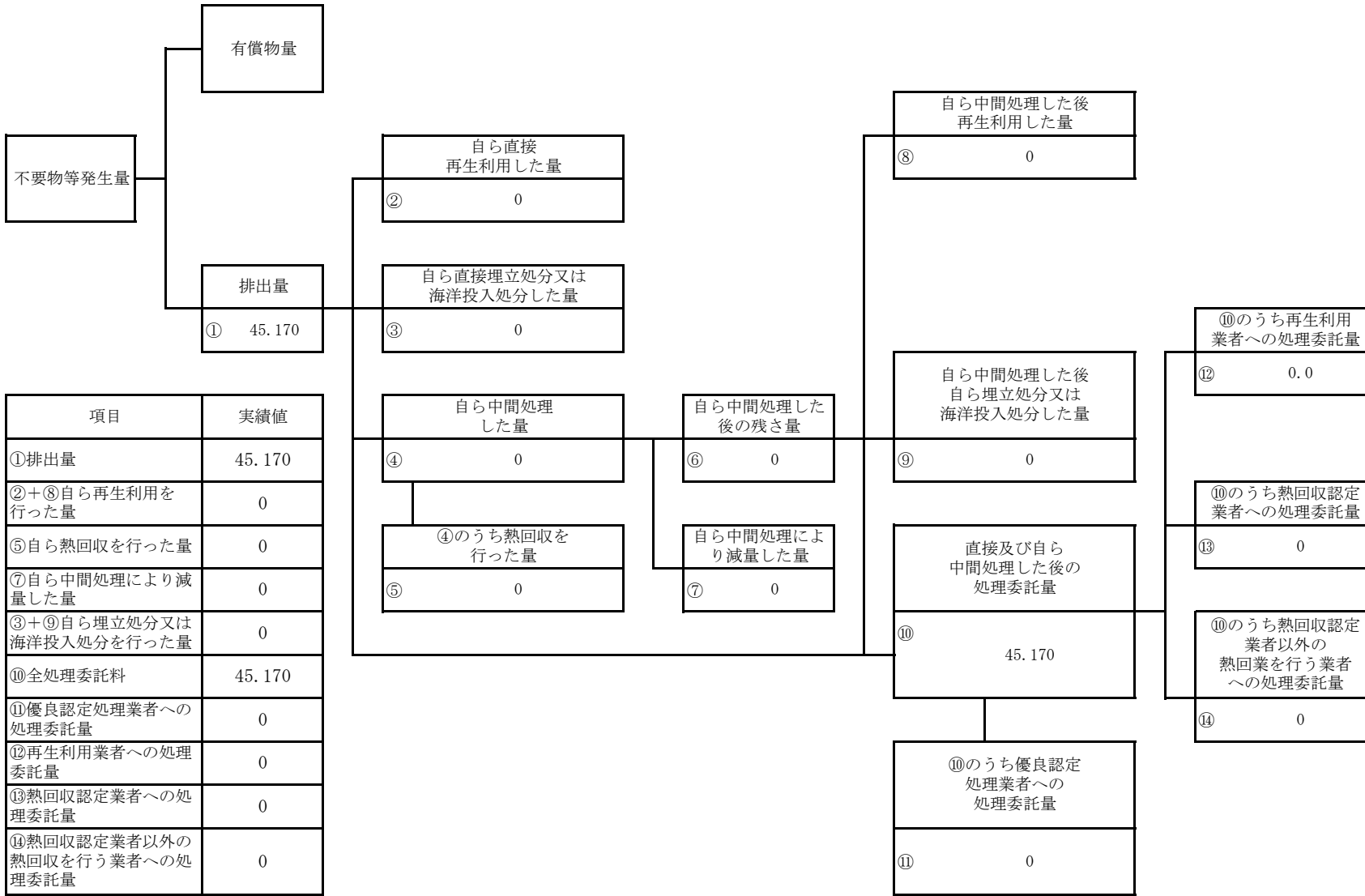
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0

項目	実績値
①排出量	0.000
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託料	0.000
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

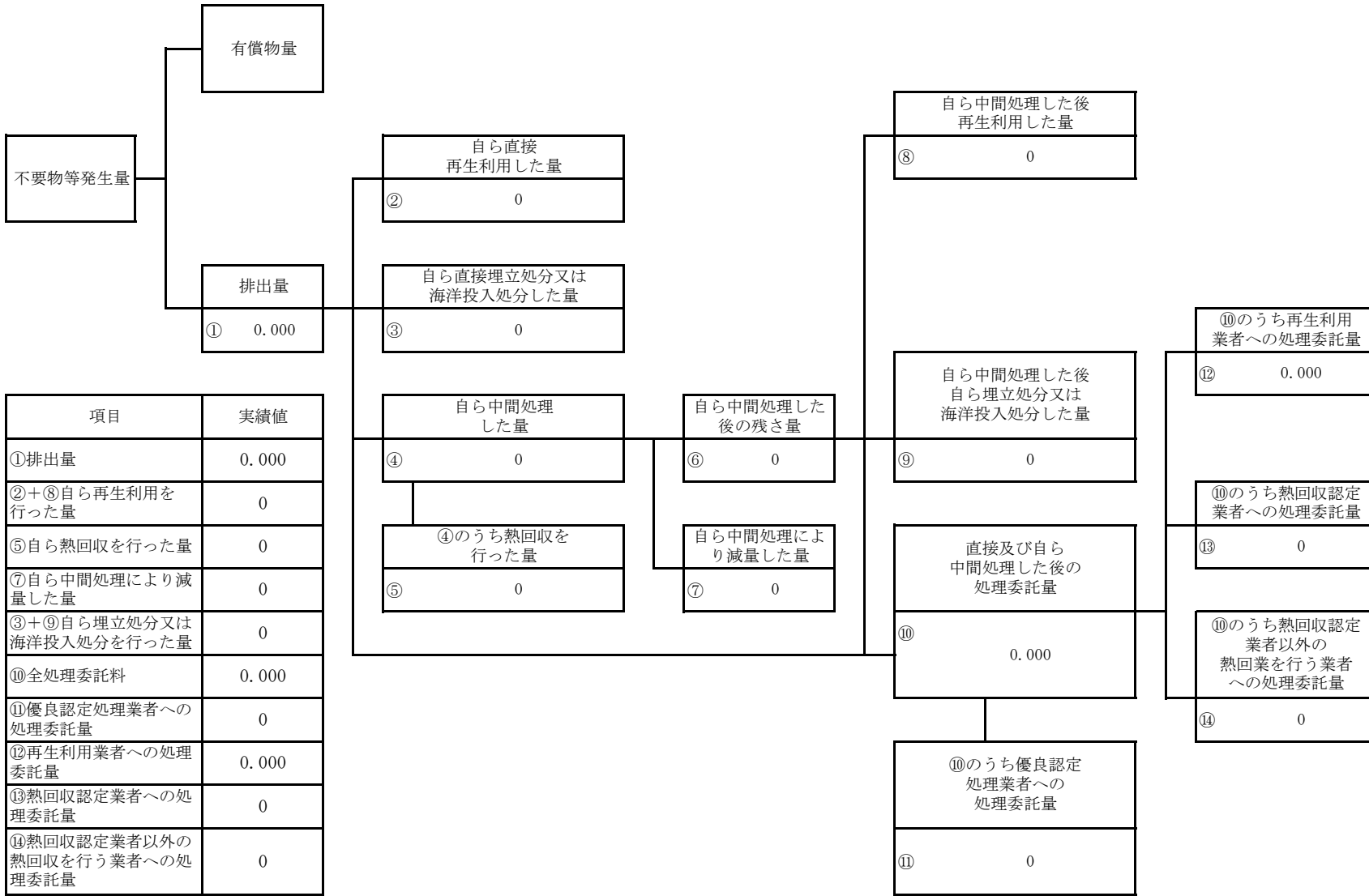
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：繊維くず)

有償物量

不要物等発生量

排出量
① 0.000

排出量
① 0.000

	自ら直接 再生利用した量
②	0

	自ら直接 再生利用した量
②	0

	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③	0

	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③	0

自ら中間処理 した量	
④	0

自ら中間処理 した量	
④	0

④のうち熱回収を行った量	
⑤	0

④のうち熱回収を行った量	
⑤	0

自ら中間処理した 後の残さ量	
⑥	0

自ら中間処理した 後の残さ量	
⑥	0

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	
⑧	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	
⑧	0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	0

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	0

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回業を行う業者
への処理委託量

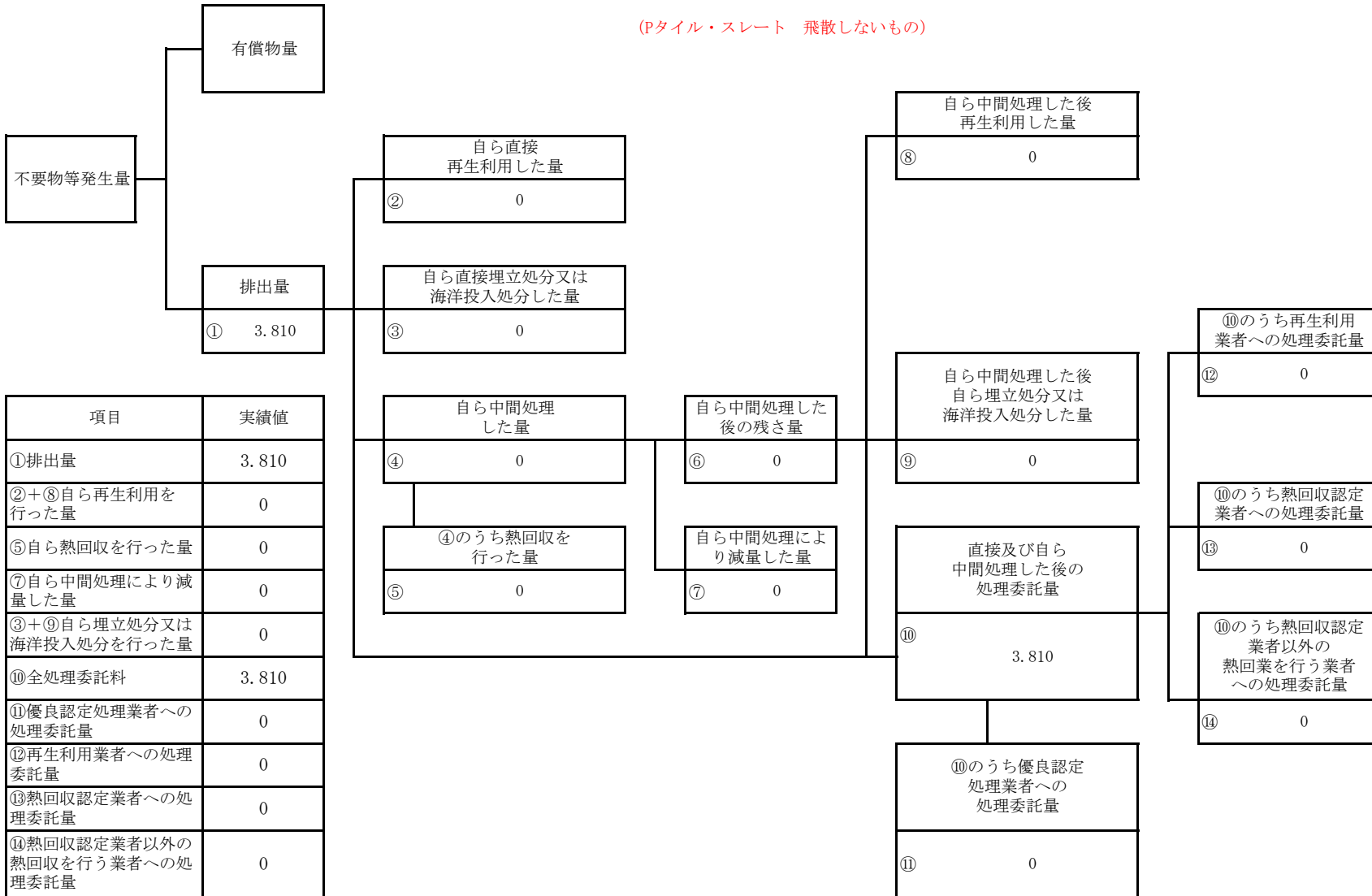
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回業を行う業者
への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.000
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託料	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有産業廃棄物)

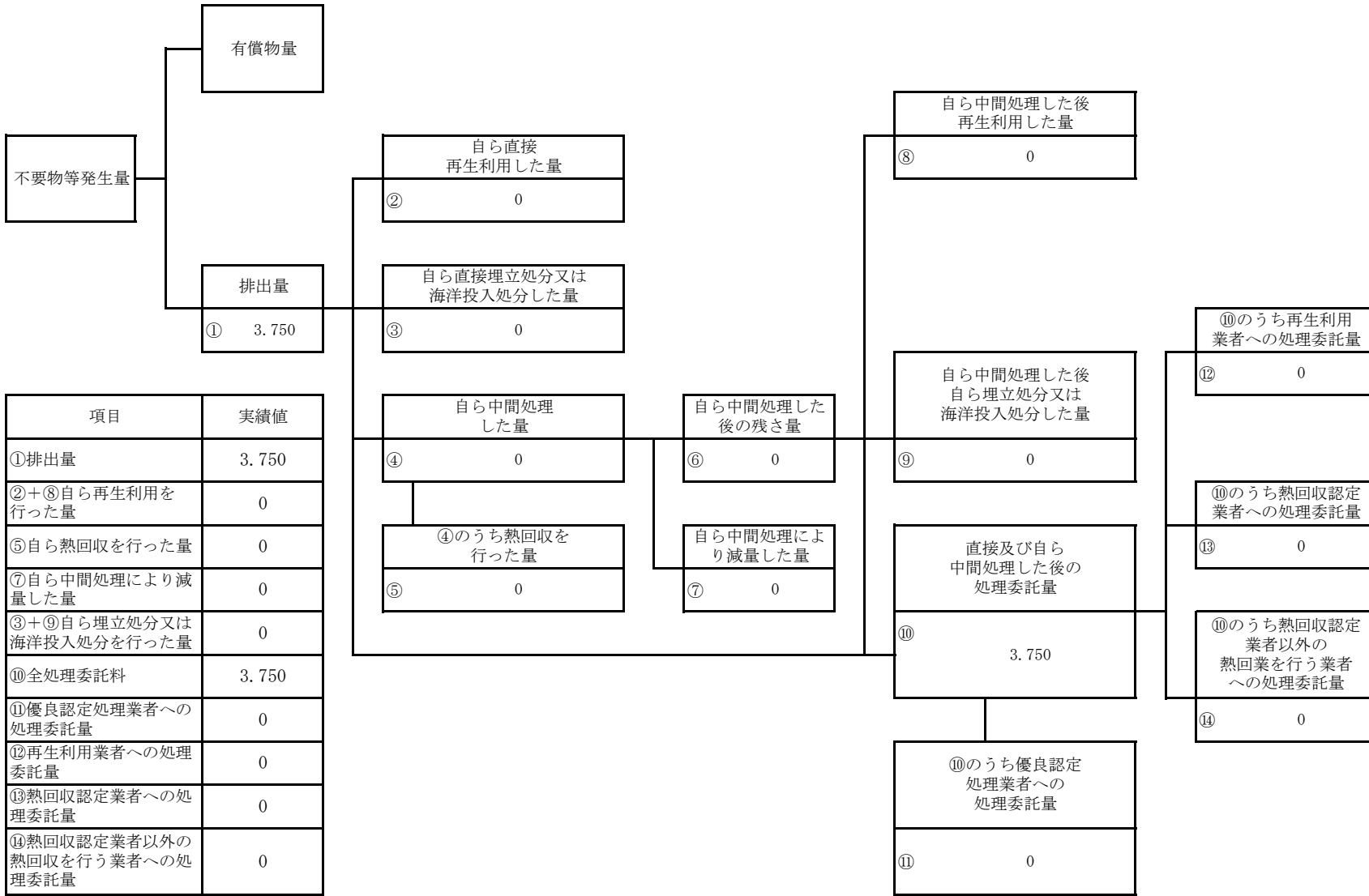
(Pタイル・スレート 飛散しないもの)



資料提供(国庫)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設汚泥)



建設汚泥

全排出量 再利用率

コンガラ	448.700	448.700
アスガラ	1353.080	1353.080
廃プラ	12.580	5.032
木くず	60.590	60.590
金属	2.380	2.380
ガラス	15.190	0.000
ガレキ	20.290	0.000
石膏	15.820	0.000
管理型混合物	0.000	0.000
混産廃	45.170	0.000
紙くず	0.000	0.000
繊維	0.000	0.000
石綿	3.810	0.000
建設汚泥	3.750	0.000
	1981.360	1869.782

1981.36